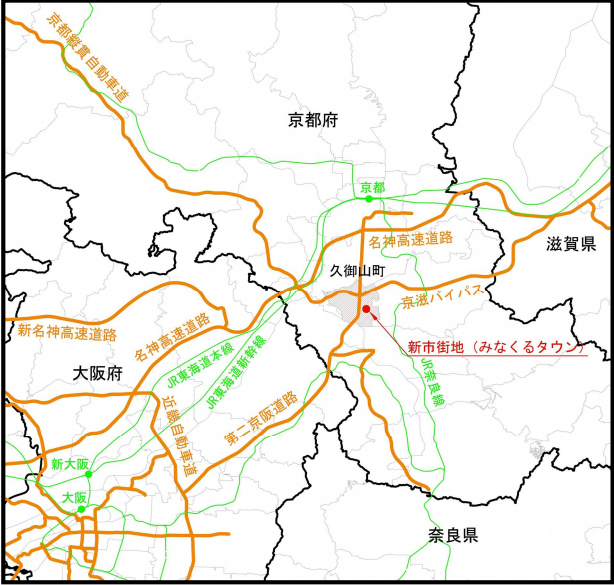
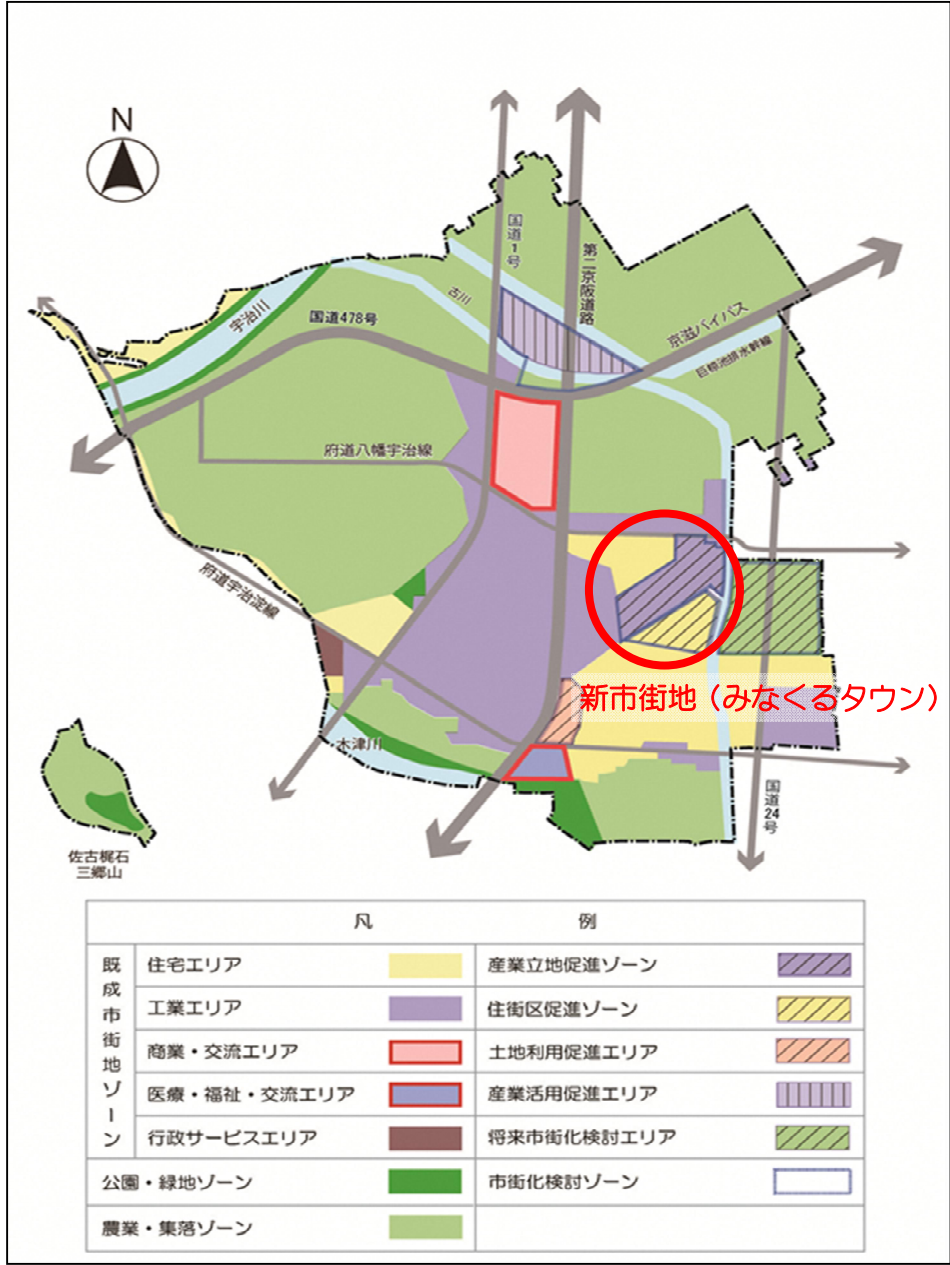


■位置図



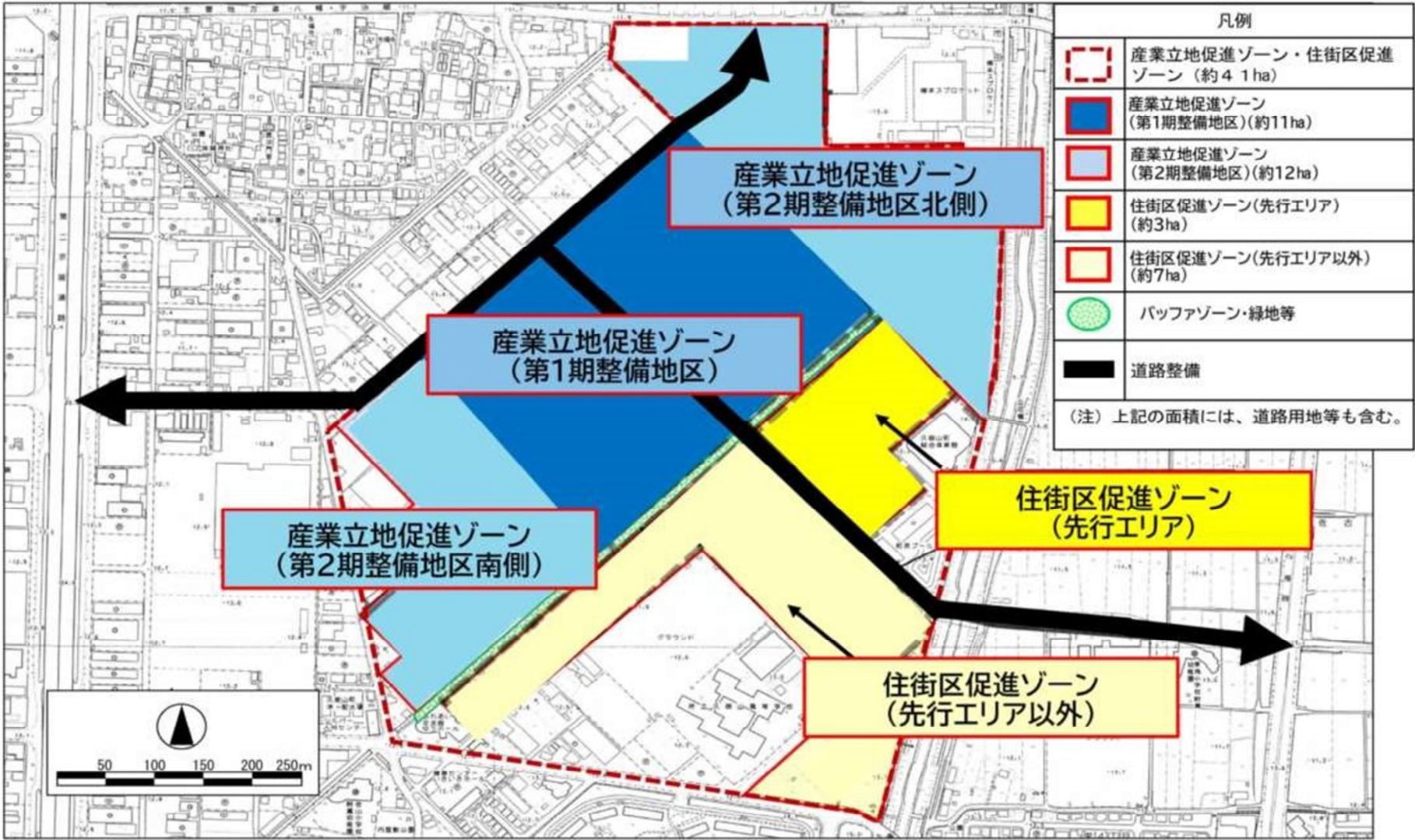
久御山町は、東西約 3.5km、南北は約 4.3km、面積 13.86 ㎢のコンパクトなまちです。国道 1 号、国道 24 号に加え、近年は久御山ジャンクションを中心に第二京阪道路や京滋バイパスなどの大型道路が開通し、京都・大阪・奈良・滋賀を結ぶ道路交通ネットワークの結節点として、近畿の道路交通の要衝となっています。

■土地利用構想（久御山町都市計画マスタープラン）



新市街地（みなくるタウン）

産業立地促進ゾーンおよび住街区促進ゾーンの将来土地利用・整備計画（案）



■産業立地促進ゾーン

- 新たなもののづくり産業拠点を創出します。
 - ・新たな産業用地を整備し、久御山町の広域的交通便利性を活かした新たなもののづくり産業の拠点づくりを進めます。
- 農業と連携した企業立地を図ります。
 - ・久御山町の産業の柱となる農業と連携する企業の誘致をめざします。
 - ・これにより、町内はじめ周辺地域の農業の活性化にも寄与します。
- 既存工業地との連携を図ります。
 - ・既存のものづくり企業の拡張用地の確保を行い、企業用地の拡大に伴う企業流出の防止を図ります。
- 活動しやすい市街地を整備します。
 - ・産業活動が行いやすい大規模用地を創出するとともに、広域幹線道路に連絡しやすい道路整備をはじめとした道路ネットワークの形成を行います。
 - ・働きやすい緑に包まれた産業用地の形成をめざします。
 - ・隣接する住宅市街地（予定）の間にバッファゾーンや緑地を設けるなど居住環境に配慮した土地利用を図ります。

■住街区促進ゾーン

- 新たな時代のモデルとなる住宅市街地の形成を目指します。
 - ・次代を担う世代が快適に暮らせる住宅地の形成を目指します。
 - ・子育てしやすい住宅、高齢者も一緒に暮らせる住宅地の形成を目指します。
- 多様な住宅地を創出します。
 - ・暮らし方、居住ニーズの多様化に対応するため、多様な形態の住宅を形成します。
 - （一般的な戸建て住宅、農業活動ができる住宅（優良田園住宅等）、利便性の高い集合住宅、など）
- 地域特性を踏まえた生活支援サービスの導入を目指します。
 - ・鉄道駅と連絡する新たな公共交通の導入などにより地域の足の確保を図ります。
 - ・体育館、プール、ふれあい交流館など近隣にある既存施設との連携、有効活用を図ります。
- 産業立地促進ゾーンとの連携を図ります。
 - ・近接する産業立地促進ゾーンを働く場とするなど相互に連携することで、「農」と連携した「ものづくりの苗畑（なえどころ）」の実現を図ります。